



本プログラムは、JSPS 科研費 JP24HT0080 の助成を受けたものです。

日本学術振興会事業・ひらめき☆ときめきサイエンス

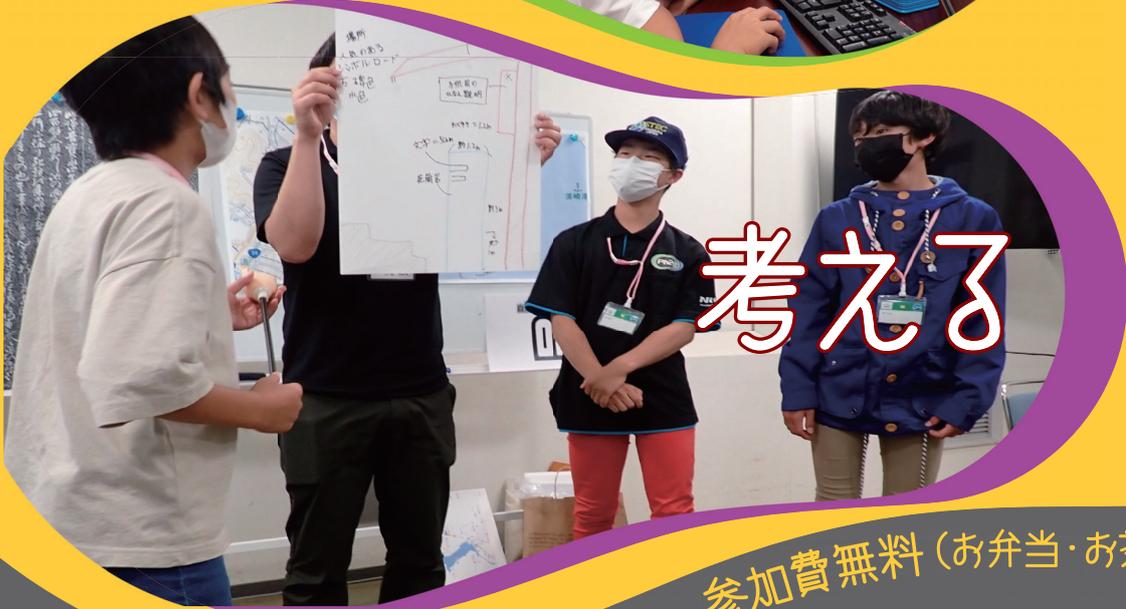
未来へつながる自然災害碑からのメッセージを 3Dデジタル技術で読み解こう！



知る



体験する



考える

参加費無料 (お弁当・お茶付き)

2024年
11月17日(日)
9:30~15:30

雨天決行
雨天時
実施の可否の可否を
室内で実施します

高知みらい科学館・実験室
<https://otepia.kochi.jp/science/>

対象：小学5・6年生～中学3年生
定員：18名

【申し込み方法】

高知コア研究所HPにて受付
(11月11日(月)締め切り)



主催：国立研究開発法人海洋研究開発機構 高知コア研究所・高知みらい科学館

わたしたちの祖先は、過去に起きた大地震や台風による災害を伝えるために、巨大な石に文字を彫って記録を残しました。しかしその碑は長年の風化によってダメージを受けて、壊れたり、文字が読めなくなったりしつつあります。そこで、3D デジタル技術を用いて、文字を読みやすくしてよみがえらせた碑を保存する試みが行われています。このプログラムでは、実際の石碑を見学して、過去に発生した自然災害を学習します。また、複数枚撮影した写真から石碑の3D デジタルモデルとミニチュアを作成し、3D デジタル災害の記録を未来へ残す最先端の取り組みを学習・体験します。さらに最新の「ひかり拓本」という技術を用いて、石碑の読みづらい文字を読みやすくする実習も行います。

日本学術振興会事業・ひらめき☆ときめきサイエンス

未来へつなぐ自然災害碑からのメッセージを 3Dデジタル技術で読み解こう！

日程：2024年11月17日(日) 9:30～15:30 (9:00受付開始)

会場：高知みらい科学館・実験室
<https://otepia.kochi.jp/science/>

対象：小学5・6年生～中学3年生
定員：18名
参加費：無料(お弁当付き) ※特記事項3
持ち物：筆記用具

スケジュール

9:30 開会式

- 1時間目 地震と石碑について勉強しよう！
- 2時間目 自然災害伝承碑を見に行こう！(高知市内ツアー)

12:00 昼食・休憩(高知みらい科学館)

13:00 3時間目 3Dモデルをつくり、かくれたメッセージをさがせ！

- 4時間目 ひかり拓本とふつうの拓本を比べてみよう！
- 5時間目 目指せ「石碑ハカセ」、オリジナル石碑をデザインしよう！

15:30 終了式・解散

※雨天時は一部の作業を室内で実施します。

【※特記事項】

- 開催会場までの送迎は保護者が責任を持って行ってください。
- バスまたはタクシーでの移動があるため、乗り物に酔いやすい場合は各自で酔い止めを用意してください。また、野外に出て実際の石碑を観察するため、動きやすい服装をお願いします。
- 受講者の昼食・お茶は会場でご用意します。保護者の参加は可能ですが、昼食は各自でお願いします。

【講師紹介】



谷川 亘
海洋研究開発機構 高知コア研究所・主任研究員

大きな石で作られた自然災害碑は過去の地震災害の貴重な情報が記録されていますが、あまり知られていません。最新デジタル技術を通して、災害碑を皆さんの力でぜひ守っていきませんか？



山本 哲也
黒潮町教育委員会・黒潮町文化財保護審議会委員

拓本は物の形を紙に写し変えて伝達する保存方法のひとつとして発展してきました。釣り上げた魚を写す魚拓から書道の手本となる王羲之の蘭亭序など身近なところで拓本の世界は広がっています。私も文化財保護の仕事に携わるなかで、石造物、土器や瓦類、古鏡や銅鐸などの青銅器の拓本づくりにかかわったことがあります。拓本づくりを行うなかで、物に対する観察力や探究心が自然と養われることがわかります。きっと物と心のなかで何度も対話をしていた影響があったかもしれません。不思議な拓本の世界、皆さまも少しのぞいてみませんか。

主催：国立研究開発法人海洋研究開発機構 高知コア研究所・高知みらい科学館

お問い合わせ：海洋研究開発機構 高知コア研究所 TEL:088-864-6705 FAX:088-878-2192 メール:kochicore@jamstec.go.jp



3Dモデル
の作成



ひかり
拓本



拓本

申し込み方法

下記URL、
もしくはQRコード
からお申し込みください。

<https://www.jamstec.go.jp/kochi/j/hiratoki2024-2/>



11月11日
(月)締切